

# 鹿児島医セン

連携室だより

2007.1 No.10

鹿児島医療センター（循環器・がん専門施設）



## 新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

当院は昨年4月1日、鹿児島医療センターと病院名変更を行いました。前の病院名になって5年しか経っていませんでしたので、よく名前を変える病院だとして批判も頂きました。一方では、当院は「循環器、脳卒中、がん」の3本柱でやっており、その診療内容を反映した病院名にするべきとのご意見もありました。将来を見据えて病院名変更の決断をしましたが、この病院名変更は良かったとのご意見が多いように受け止めています。

昨年8月には、5年前から行ってきた病院の増改築工事が終了しました。西病棟を新築し、元々の病棟（東病棟）は全てリニューアルしました。外来棟は増改築し、広く明るくなりました。特に、外来に設置した熱帯魚の水槽は子供たちが喜んでくれるようで、癒しの空間になっています。300台入る駐車場も作り、それなりにアメニティは改善したと思っています。更に、必要な医療機器の更新も行っています。大型機器のみでも、昨年4月に両方向性血管造影装置、今月はMRIの新しい装置の設置が終わります。良質な医療を提供するために、必要な機器整備を進めています。ハード面のみではなく、リスク対策、感染症対策、栄養サポートチームの活動などソフト面も粛々と地味な日常活動を進めています。

当院は九州の国立病院機構病院の中では循環器基幹病院と指定されています。従来より、心臓・血管病、脳卒中に対してはスタッフ、機器とも整備されており急患を含めて対応しています。この分野は今後も整備・充実させて、患者さんの期待に応えていきたいと思っています。更に、昨年8月には、地域がん

診療拠点病院の指定も受けました。がん部門は血液内科、消化器内科、耳鼻咽喉科、婦人科、泌尿器科、放射線科、外科が担当します。がんの化学療法の専門家も配置しています。更に、がん診療を病院全体で深化させる取り組みを始めています。糖尿病・内分泌科、小児科もあります。それぞれ、レベルの高い専門医を配置しています。「良質な医療」の提供という当院の使命を粛々と果たしていきたいと思っています。

医療情勢は厳しさを増し、医療ビッグ・バンともいべき状況にあります。金融ビッグ・バンの際には国民も自分の財布の事が心配で声を上げました。政府も預金保険機構というセーフティ・ネットを作り、国民に安心感を与えました。しかし、医療ビッグ・バンではなんらのセーフティ・ネットも示されていません。財布より大事な命の事なのに、大きな声になっていません。現場の医療従事者がなんとかするだろうと政府も国民も思っているのでしょうか。現場の状況を最も知る我々の声を政策決定者は知って欲しいものだと思います。

医療情勢は厳しい状況にありますが、その中で懸命の努力をしていきたいと思っています。今年も宜しくお願いします。

平成19年1月 病院長 中村一彦



# 幹部年賀状



副院長 牧野 正興

新年のお慶びを申し上げます。先生方には清々しい新春をお迎えのことと存じます。

これまで当院では地域医療連携室便りとして、「鹿児島医セン」を発行してきましたが、毎号1000部を超える部数を先生方へお届けできるのもひとえに皆様のご支援の賜と心から御礼を申し上げます。

昨年は病院名も鹿児島医療センターと改称し、引きつづき地域がん診療連携拠点病院にも指定され、名実ともに「循環器疾患」と共に「がん」の診療拠点として認めて頂きました。先生方をはじめ地域の皆様の期待に沿うべく一層の努力を傾注して参りますので、今年も益々のご支援・ご指導をよろしくお願い申し上げます。



統括診療部長 山下 正文

新年明けましておめでとうございます。昨年は私達の病院にとって良い方向への大きな変革の年でした。4月に鹿児島医療センター

と改称し、癌の診療をやるのだという立場をはっきりさせたことにより、耳鼻咽喉科の復活、消化器内科の再建などができ、地域がん診療拠点病院の指定も受けることができました。

循環器、脳卒中に関しましては従来とかわらず御支援をいただきました。

おかげさまで97～8%の満床状態が続き、緊急時の対応に御迷惑をおかけしたことも度々あったようで、在院日数短縮の努力が足りなかったことをお詫びいたします。今年は休棟中の病棟をオープンする予定です。急患の受け入れも少しは余裕ができると思います。

本年もよろしく御指導、御支援のほどお願い致します。



臨床研究部長 城ヶ崎 倫久

新年明けましておめでとうございます。清々しい新年をお迎えの事と存じお慶び申し上げます。

さて、日本では大規模臨床試験が欧米に比べてなかなか進んでおりませんが、国立病院機構では「EBM(Evidence-Based Medicine)推進のための大規模臨床研究」を進めており、日本発信の臨床研究を遂行しようとしております。この研究にも当院は積極的に参加しており、「急性心筋梗塞全国共同悉皆調査による臨床評価指標とその評価(STAMINHO)」および「心房細動による心原性脳塞栓予防における抗血栓療法の実態調査(J-NHOAF)」に登録し、どちらの研究においても、登録数は国立病院機構の病院の中で各々1位と4位と上位にランクされました。これからも地域医療連携室を通じて、実地医家の先生方から紹介していただいた症例を1例1例大事にして、臨床研究に励んでいきたいと思っております。今年も鹿児島医療センターの臨床研究部をよろしくお願い申し上げます。



地域医療連携室長 濱田 陸三

明けましておめでとうございます。皆様良いお正月をお迎えになった事と存じます。

昨年は連携室便り「鹿児島医セン」をご愛読頂き有り難うございました。昨年4月からの病院名称変更に合わせて、この連携室便りも従来の「きゅうじゅん」から「鹿児島医セン」として新たにスタートしましたが、旧紙面同様ご愛読頂き感謝申し上げます。今年もまた毎月お届けしますので、昨年同様、診療の合間の息抜きなどにご利用頂ければ幸いです。

お陰様で、右も左も分からないままスタートした当センターの地域医療連携室も、大型機器の共同利用、検査予約、入退院の支援など徐々に軌道に乗つつあります。これもひとえに皆様方のご支援のたまものと感謝致しております。

どうぞ今年もよろしくご支援の程お願い申し上げます。

# 鹿児島医療センター クリスマスコンサート2006

実行委員 東 幸代

暖冬の中、12月9日、一足早いクリスマスコンサートを開催することが出来ました。患者さまやお見舞いのご家族で会場いっぱいになり、開演を待ち望む気持ちが場を益々熱くしていました。

社会人のメンバーで構成されている「サザンウインド吹奏楽団」のご好意で、4回目の演奏を楽しむことが出来ました。クリスマスソングや懐メロの演奏にあわせて、参加者が口ずさみ、演奏者と会場が一緒になることが出来ました。

また、特別出演の、三島村役場グループ「アイニケ」のメンバーによるジャンベの演奏があり、軽快な語りと、楽しい演奏に会場の皆様の笑いと拍手が加わり、更に、盛りあがりしました。突然、現れた、職員の踊りに会場の熱気もピークになり、『感動』を頂きました。

当院の敷地内にある「つくし保育園」園児のゲストは、コンサートのために一生懸命に練習し、会場からは「可愛い……」と精一杯のエールを送ってくださり、上手にお遊戯ができていました。サンタさんからのプレゼントにしっかりと「ありがとう」とお礼をする姿はなごやかな光景でした。

実行委員長の中島先生を中心に院内の各職場の担当者が検討を重ねて、企画し、前日からかなり工夫を凝らした準備が出来ました。当日は、看護学生も患者さまの会場への移送へと協力しました。

これからも、患者さまにとって、良質な医療が提供できるように、職員間の連携を図っていきたいと思います。



## 手作りティーパーティーの中で

今年のティーパーティーは、どのような形にしようかと考えていくうち、やはり手作りで、自然の中に暖かな雰囲気漂っているようなものが良いだろうと思い、皆で準備を進めて参りました。さて、総数300人分のお手製ケーキ、5種の蒸しパン200個の細やかな作業、ピザ160人分の生地作り、フルーツデコレーション300人分の確保など、給食室の冷蔵室内はクリスマスモードたっぷり通常食材とひしめき合って出番待ちです。私達の頭の中で創造できるもの、費用をかけることなくできるものなど、日をかけて構成して参りました。そして当日、各人の動きと緊迫感は辺りに広がり、時間との戦いです。

楽団の音色が高々に響くパーティー場は、今朝摘んだ木の葉も野菜も元気に見えました。それにも増して、何より嬉しそうなのは患者様方や家族、訪れた方の喜びの顔や声でした。つかの間の楽しいスイーツの庭でしたが、患者様とスタッフ一同が共に感じ合い、迎え入れられた時間帯であったように思います。とろで、ケーキの甘さはいかがでしたか？お飲み物は温かかったですか？『メリークリスマス』  
(栄養管理スタッフ一同)



### お問い合わせ先

独立行政法人  
国立病院機構

**鹿児島医療センター**（循環器・がん専門施設）

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号  
 (代)TEL 099 (223) 1151 FAX 099 (226) 9246  
<http://www.kagomc.jp>  
 脳卒中ホットライン ▶▶ 090-3327-5765

〈地域医療連携室〉 濱田、岩下、平田、中島、田添、池上、善福  
 直通電話 ▶▶ 099-223-4425  
 フリーダイヤル専用FAX ▶▶ 0120-334-476  
 ※休日・時間外は当直者で対応します。

